

社会科学学習指導案（5年〇組）

平成28年10月3日（月曜日）第〇校時5年1組教室 指導者 高橋 弘一

1 単元名 これからの食料生産とわたしたち

2 考察

(1) 教材観

本単元は小学校学習指導要領社会編5年の学校学習指導要領社会科5年の目標（2）我が国の産業の様子、産業と国民生活との関連について理解できるようにし、我が国の産業の発展や社会の情報化の進展に関心を持つようにする」及び（3）「社会的事象を具体的に調査するとともに地図や地球儀、統計などの各種基礎的資料を効果的に活用し、社会的事象の意味について考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする」を受け、内容（2）ア「様々な食料生産が国民の食生活を支えていること、食料の中には外国から輸入しているものがあること。」（イ）「我が国の主な食料生産物の分布や土地利用の特色など」（ウ）「食料生産に従事している人々の工夫や努力、生産者と消費者を結ぶ運輸などの働き」に基づいて設定されている。大単元「私たちの生活と食料生産」の最後に位置付けられている。これまで、我が国の食料生産の分布や、米づくりや水産業の様子を調べてきた。これらの学習を通して、農業や水産業が自然環境を生かして営まれ、それらに携わる人々の工夫や努力によって支えられていることや、生産者と消費者を結ぶ働きによっても国民生活を支えていることを学習してきた。また、生産者と消費者を結ぶ働きによって我々の生活を支える重要な役割を果たしていることを学んできた。そのまとめとして位置付けられている。

本単元では、我が国の食料生産の問題について調べ、これからの食料生産について考えていく。農業や水産業の学習してきたことを生かして、生産者のほか、消費者としての視点からも食料生産の問題を捉えさせたい。

(2) 児童（生徒）の実態及び指導方針（男子16名 女子21名 計37名）

①児童の実態

(1) 調べて分かったことを「似ているな」「ちがっているな」と考えていますか。				(3) 友達の考えや話し合ったことを参考にしてもう一度考え、考えを直している。			
考えている	けっこう考えている	あまり考えていない	考えていない	考えて直している	考えるけど変えない	考えないで変える	考えない
27%	37%	32%	2%	64%	29%	2%	2%
(2) 話し合うとき自分の考えを話すのは得意ですか。				(4) 話し合ったことを生かして、まとめの文章を書けますか。			
得意	まあまあ得意	あまり得意ではない	苦手	書ける	だいたい書ける	あまり考えていない	考えていない
13%	24%	51%	10%	16%	51%	27%	5%

本研究に関する調査（平成28年6月実施 対象：所属校5年37名）の結果を見ると、自分の考えを話すのが得意ではない児童が60%、比較・関連付けて考えていない児童が34%、よりよい考えにするため他の考えを取り入れて考えない児童が33%いる。また、考えたことを文章で書くことが得意ではない児童が32%いることが分かった。

課題について調べたことを比較・関連付け・総合して整理することができない児童が多いことや新たな気づきを自分の考えに取り入れて考えないことから思考力が、そして、自分の考えを話したり、話し合ったことを生かしてまとめを文章に表したりすることが難しいことから、表現力に課題があることが分かった。

研究にあたって行った聞き取りや、授業の様子から、社会的事象一つ一つについての理解はできているが、比較・関連付け・総合して整理してつながりを捉え、様々な角度から社会的事象を見ることによって、その意味について考え、表現することには至らないことが多く、課題である。

このようなことから、社会的事象の意味について考える力や、考え判断したことを表現する力の育成が重要であると考ええる。

②指導方針

- 児童が興味・関心を持てるような資料の提示を行うとともに、自ら課題を持ち、予想することができるような資料の精選、提示の工夫を行い、児童が見通しを持って学習できるようにする。
- 視点を明確にして調べ学習を進めることができるように、課題の答えを予想し、キーワード化する。
- 社会的事象やその意味について根拠を持って考えられるように、個人でしっかり調べたり考えたりする時間を確保し、調べ学習の中から重要だと思う事柄を、根拠を明らかにしながら、付箋紙に表す活動を行う。
- 『つながりチャート』を作成して社会的事象を比較・関連付け・総合して・整理することができるように、情報を整理する。
- 学習の流れを大観でき、調べた内容や自分の考えを可視化するために、付箋に書いた情報を整理する『つながりチャート』を作成する。
- 異なるキーワードの『つながりチャート』の交流会を行って得た新たな気づきを、『つながりチャート』に再構成する活動を行うことで、事象の意味について考えられるようにする。
- 時間を十分確保して『つながりチャート』を作成、再構成することで社会的事象の意味について十分考え、表現することができるようにする。
- 毎時間のまとめを個人で書く活動を積み上げ、抵抗感を軽減し、書くことに慣れるようにする。

3 研究とのかかわり

本単元では、我が国の食料生産についての問題を知り、食料生産の問題をどうしていけばよいかを考えていく学習である。

本研究は主題を「社会的事象の意味について考え、表現する力を育てる小学校社会科における指導の工夫」とし、副主題を「情報を整理し、事象の特色を捉える『つながりチャート』の作成と活用を通して」と設定した。

従って、社会的事象の意味を考え、表現する力を育てるためには社会的事象や生産者の工夫や努力、消費者のかかわり方や食料生産に関する考えなどについて比較・関連付け・総合、情報を整理し、再構成しながら事象の特色を捉えていく学習を通して、社会的事象の意味について考え、表現していくことが必要となる。

まず、課題の答えを予想し、キーワード化し見通しを持つ。次に、キーワードを基にして我が国の食料問題や、食生活の変化、消費者の食に対する思いなどについて調べ、調べたことから重要だと思う言葉を付箋紙に書いていき、その根拠などを書く。グループで情報を比較・関連付けて『つながりチャート』に整理する。最後に、交流会を行い、整理した『つながりチャート』を活用しながら、調べたことや考えたことなどを再構成する活動を通して、事象の特色を捉えることができるようにしていく。このような学習を通して、社会的事象の意味について考え、表現する力を育てることができると考えた。

4 単元の目標

我が国の食料生産には、自給率の低下や安全性など様々な問題があることを理解し、これからの我が国の食料生産について考えようとしている。

5 評価規準及び指導の計画（全6時間予定）

評価規準	関心・意欲・態度	自分の生活と食料生産との関わりを基に、我が国の食料生産の現状と未来について関心を持ち、我が国の食料生産の発展について考えようとしている。					
	思考・判断・表現	我が国の食料生産の問題について、環境への影響、輸入食材の安全性、生産者と消費者などの観点を基に、考えたことを適切に表現している。我が国の食料生産をめぐる問題について、学習問題や予想、学習計画を考え表現している。					
	資料活用・技能	我が国の食料生産の問題点について、統計などの各種の資料を活用して必要な情報を集めて読み取り、図や文章にまとめている。					
	知識・理解	我が国の食料生産は国民生活を支えていることや、これからの食料生産には、就業者の減少、食品の安全性、環境保全、自給と輸入の関係、生産者と消費者のつながりなど、様々な課題があることを理解している。					
過程	時間	主な学習活動	評価				
			◇評価項目（評価方法）	関	思	技	知
つかむ	1	○食料生産の問題に関心を持ち、学習課題の答えを予想する。	◇食料生産の問題に関心を持って資料や既習事項から学習課題の答えを予想しようとしている。（ワークシート）	○			
	2	○キーワードを基にしながら課題について調べ、食料生産の問題や、解決していくために大事な事柄を付箋に書く。	◇予想を基にしたキーワードに関することを調べ、課題の答えに結びつく重要な事柄を付箋紙に書き出し、その根拠を明らかにすることができる。（付箋紙、ワークシート）			○	○
追究する	1	○食料生産の問題について調べて分かったことを『つながりチャート』に整理する。	◇付箋紙に書き出した情報を整理することができる。（観察、『つながりチャート』）		○		
	1	○交流会を行い、食料生産の新たな問題を付箋紙に表す。	◇自分たちの調べたことを『つながりチャート』を使って説明するとともに、他のグループとの交流から、新たな視点を見付け書き出すことができる。（付箋紙、観察）			○	○
考え・まとめる	1	○『つながりチャート』を再構成し、食料生産の問題をどうすればよいか考え、表現する。	◇交流会で得た新たな気付きを取り入れ、自分たちの『つながりチャート』を再構成することができるとともに、課題の答えや自分にできることを表現することができる。（『つながりチャート』、ワークシート）		○		

6 本時の展開（1／6）

- (1) **ねらい** 食料生産に関心を持ち、食料生産の問題についての課題を予想し、見通しを持つことができる。
- (2) **準備** 児)教科書、資料集 教)資料（グラフ、写真）、『つながりチャート』
- (3) **展開**

学習活動 予想される児童の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童生徒への支援 ◇評価)
<p>1 食料生産に関心を持つとともに、本時の学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>[学習課題]日本の食料生産にはどんな問題があり、これから食料生産をどうしていったらよいだろうか。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>[学習課題]食料問題について課題を持ち、答えを予想しよう。</p> </div>	15分	<ul style="list-style-type: none"> ○児童が興味・関心を持ち、輸入品の多さや安さから課題を考えられるようにするために、児童に身近なスーパーの食料品売り場の写真を提示する。 ○自給率の低さを具体的に読み取れるよう、国別及び食料別の自給率のグラフを提示する。 ○生産者だけでなく、食料品を選び、消費する消費者の立場にも気付けるよう、食の安全にかかわる資料を提示する。 ○人々の工夫や努力によって自分たちの食生活が支えられていたことが想起できるように、農業や水産業の既習事項を振り返る時間を設定する。 ○基礎的な知識を確実に身に付けられるようにするため「輸入」や「自給率」などの用語の意味を児童の実態に合わせて説明する。
<p>2 課題の答えを予想する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>《児童の予想例》 自給率を上げる 安くする 輸入を減らす 日本のものを買う 生産を多くする 消費量を増やす 産地や賞味期限をよく見て買う</p> </div>	10分	<ul style="list-style-type: none"> ○予想だけでなく、予想した根拠も考えることで、個人で考える時間を確保する。 ○資料から課題の答えを考えられるように、資料を画像と板書（紙）の両方で示し、ワークシートにも載せる。 ◎予想できない児童や何を書いていいかわからない児童が自分で考えられるようにするため、個別に支援する。
<p>3 予想を出し合って、キーワード化し答えや学習活動への見通しを持つ。</p>	15分	<ul style="list-style-type: none"> ○見通しを持って調べられるようにするため、児童の意見を聞きながら、予想をキーワード化していく際の板書を工夫する。 ◎自分の考えを表現できない児童も考えを持ち、自分の課題として捉えるために、同じ考え、似ている考えか全体に投げかけ、多くの児童の考えを汲み取っていく。また違う考えはないかなど児童の意見を確認し称賛する。 ○課題の答えや学習の仕方に見通しを持てるようにキーワードは多すぎず少なすぎないほうがいいと考え「生産者」「消費者」の立場からの考えに分類し児童の反応を見て、ねらいを踏まえて対応する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◇食料問題に関心を持ち、課題の答えを進んで予想している。（ノート・発表）【関心・意欲・態度】</p> </div>

<p>4 学習のまとめをし、次時の学習目の見通しを持つ。</p> <p>《表れてほしい児童の姿》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自給率が上がるように消費者が気を付ければいい。 ・生産者がたくさん作って安く売ればいい。 	5分	<p>○課題の答えに対する見通しを持てるように、課題やキーワードを確認する時間を確保する。</p> <p>○学習の仕方に対する見通しを持てるように、1学期に取り組んだ「米づくりの盛んな地域」の学習で作成した『つながりチャート』を提示し、本単元でも作成、活用していくことを伝え、意欲付けする。</p>
---	----	---

7 板書計画

○/○○

日本の食料生産にはどのような問題があり、これからの食料生産はどうしていったらよいのでしょうか

食料問題について課題をとその答えを予想しよう

予想

生産者

消費者

食料品売り場の写真

② 日本と主な国の食料自給率

③ 主な食料の自給率

食の安全に関する資料

- ・自給率が上がるように消費者が気を付ければいい。
- ・生産者が、たくさん作って安く売ればいい。

自給率～自分の国の食べ物が、自分の国でどれくらい作られているかを示す

本時で提示する資料

- ・地域のスーパーの食料品売り場の写真
- ・食の安全を扱った資料（新聞記事）
- ・国別、食料品別食料自給率の変化のグラフ
- ・前単元の『つながりチャート』

6 本時の展開（2，3／6）

(1) **ねらい** キーワードについて調べ根拠を明らかにして大事な事柄を付箋に書くことができる。

(2) **準備** 児)教科書、資料集 教)『つながりチャート』、ワークシート

付箋（黄色、根拠～黄色大、まとめ～水色大）

(3) **展開**

学習活動 予想される児童の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童生徒への支援 ◇評価)
<p>1 課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>[学習課題]食料生産の問題をキーワードを基に調べ、食料生産の問題や、解決していくために大事な事柄を付箋に書こう。</p> </div>	3分	<ul style="list-style-type: none"> ○課題の答えに対する見通しを持って学習できるように、課題とキーワードの確認を十分行う。 ○学習の仕方に対する見通しを持てるように『つながりチャート』を提示し、これからの学習で、作成していくことを伝える。 ○付箋紙に書く事柄が、なぜ重要なのかを児童が明確にできるように、前回『つながりチャート』を作成した際には、調べながら大事な事柄を付箋に書いていったが、本単元では調べる時間と付箋に書く時間を分けるよう指示する。 ○前回の活動の仕方との違いをしっかりと理解して活動できるよう、付箋に書くことだけでなく、その根拠が大事であると丁寧に言葉がけをする。
<p>2 キーワードについて調べ、調べたことをワークシートに書く。</p>	20分	<ul style="list-style-type: none"> ○根拠を明確にして自分の考えを持てるようにするため個人で調べ、考える時間を十分確保する。 ○付箋に書き出すだけになってしまわないように、調べる時間と付箋に書き、考える時間を分ける。
<p>3 大事だと思う事柄を選んで、根拠を明らかにしながら付箋紙に書く。</p>	15分	<ul style="list-style-type: none"> ○児童が十分調べ、根拠を明確にして考えられるように調べる時間、付箋に書く時間を分けて設定する。 ○個人でじっくり考えられるよう、ワークシートを見ながら付箋紙に書きワークシートに貼るよう指示する。また、付箋紙の横に根拠を書けるようなワークシートを用意する。 ○児童が付箋の数にこだわらないよう、枚数を制限して数が少なくても根拠を明確にするよう助言する。 ◎あまり書けない児童も安心して学習できるように付箋に書くのは少なくてもいいことを伝える。 ○見通しを持って学習に取り組めるよう、ワークシートを基に『つながりチャート』を作成していくことを事前に伝える。 ○いつ調べたかが分かり、みな同じように学習が進められるようにするためにワークシートは1時間に1枚として、次時は新しいワークシートを準備する。 ○『つながりチャート』を作成していく際に、別の日に調べた事柄もつながっていくことが分かるようにするため、付箋紙の色を変えるよう指示する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◇根拠を明確にしなが付箋紙に大事な事柄を書くことができる。(ワークシート) 【技能】 【知識】</p> </div>

4 調べて分かったことをワークシートにまとめる。

《表れてほしい児童の姿》

- ・たくさんの食料を輸入している。
- ・自給率がひくい。
- ・安全な食料を食べたい。

7分

- 次時も意欲的に学習しようという気持ちを持てるようにするために、熱心に取り組んだことを称賛したり、根拠がしっかりかけた児童を紹介したりする。
- ◎書けない児童には、付箋紙やワークシートに書いたことを参考書くように助言する。
- 見通しを持って学習するため、早く書けた児童は次時に調べることを考えるよう助言する。

7 板書計画

○/○○

[学習課題] 日本の食料生産にはどんな問題があり、これから食料生産をどうしていったらよ
いだろうか。

[課題] 食料生産の問題をキーワードを基に調べ、食料生産の問題や、解決していくために大事な事柄を付箋に書こう。

食料品売り場の写真

食の安全に関する資料

まとめ(例)

- ・たくさんの食料を輸入している。
- ・自給率がひくい。
- ・安全な食料を食べたい。

キーワード

生産者 消費者

- 1 調べたことをワークシートに書く (○○)
- 2 大事なことを付箋紙に書く (○○分)
※なぜ大事なのか
※大事だと思ったわけ

今日のまとめをしよう

国	1970年	75年	80年	85年	90年	95年	2000年	05年	09年
カナダ	100	110	120	130	140	150	160	170	180
フランス	100	110	120	130	140	150	160	170	180
アメリカ	100	110	120	130	140	150	160	170	180
イギリス	100	110	120	130	140	150	160	170	180
日本	40	45	50	55	60	65	70	75	80

食料品	自給率 (%)
米	98
小麦	11
大豆	7
野菜	38
肉類	85
乳製品	79
肉	54

○第1時で提示した資料を提示

6 本時の展開（4／6）

(1) ねらい 調べたことを『つながりチャート』に整理することができる。

(2) 準備 児) 第2, 3時のワークシート 教) 『つながりチャート』の例 『つながりチャートの』ルール

(3) 展開

学習活動 予想される児童の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童生徒への支援 ◇評価)
<p>1 課題をつかみ、学習の見通しを持つ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>[学習課題] 食料生産の問題を『つながりチャート』に整理しよう。</p> </div>	5分	<p>○活動をスムーズに行えるようにするため、グループはキーワードごとに教師が作り、事前に伝える。</p> <p>○児童が共通した考え方で『つながりチャート』を作成していけるよう『つながりチャート』に整理していくときの注意を事前に説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『つながりチャートのルール』を活用して事象をつなげていく。また、その根拠が大事であることを伝える。 ・考えを明確にするため根拠は違う色の付箋紙に書き『つながりチャート』に貼るよう指示する。 ・グループで話し合いながら整理し、根拠が明確で、友達の考えを取り入れながら作り上げるために、付箋を貼るだけでなく、話し合いながら作成するよう助言をする。
<p>2 『つながりチャート』を作成し、情報を整理する。</p>	30分	<p>○内容や活動のしやすさなどを考慮して『つながりチャート』は模造紙半分の大きさとする。</p> <p>○児童が共通した考え方で作成でき、すぐに確認できるように『つながりチャートのルール』を掲示するとともに、一人一人に配布する。</p> <p>○情報を分かりやすく整理でき、根拠を持って考えられるよう、活動の進み具合や内容を見ながら随時指導・助言する。</p> <p>◎情報を整理することが難しいグループにはワークシートを確認するよう助言する。また、思ったことや感想などでもいいことなどを声かけする。</p> <p>○整理した『つながりチャート』を自分で説明できるように、早くできたグループには、交流会の準備を促す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>◇根拠を明らかにしながら、情報を『つながりチャート』に整理することができる。 (『つながりチャート』、活動の様子) 【思考・判断・表現】</p> </div>

<p>4 本時のまとめをして、交流会への意欲を持つ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>《表れてほしい児童の姿》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者は安いだけでなく、安全な食料がいい。 ・外国の食べ物より、おいしくて、安物を作ればいい。 </div>	10分	<p>○『つながりチャート』を紹介することで、『つながりチャート』に整理する前後で情報のつながりや関連が分かり、整理されたことが分かるようにし、情報のつながりはもちろん、根拠を書いた付箋にも注目するよう言葉かけをする。</p>
--	-----	---

7 板書計画

○/○○

[学習課題] 日本の食料生産にはどんな問題があり、これから食料生産をどうしていったらよいだろうか。

課題 食料生産の問題を『つながりチャート』に整理しよう。

『つながりチャート』に整理しよう

- 「ルール」を活用しよう
- 付せんにつないだ「理由」や「根拠」を書いて、はろう。

まとめ

- ・消費者は安いだけでなく、安全な食料がいい。
- ・外国の食べ物より、おいしくて、安物を作ればいい。

○資料「『つながりチャート』の例」、「『つながりチャート』のルール」

6 本時の展開（5／6）

- (1) **ねらい** 交流会を行い、異なるキーワードから新たな気付きを得ることができる。
- (2) **準備** 児) 『つながりチャート』 教) ワークシート **付箋（ピンク、青大）**
- (3) **展開**

学習活動 予想される児童の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童生徒への支援 ◇評価)
<p>1 課題をつかみ、本時の見通しを持つ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>[学習課題] 交流会をして、食料生産の新しい問題を知ろう。</p> </div>	8分	<ul style="list-style-type: none"> ○交流会に時間をかけられるよう交流会の説明は的確に短くする。 ○発表を聞きながらメモをとれるようにワークシートを用意しておくが、書くことに夢中になりすぎないで、しっかり聞くように声掛けをする。 ○移動する際混乱しないように、交流会の場所を設定しておく。
<p>2 交流会を行う。</p>	15分	<ul style="list-style-type: none"> ○多様な考えに触れられるよう、交流会の形態を工夫する。具体的には発表するのは1回とし聞くときは自分のグループを1人か2人に分け2～3グループの発表を聞けるよう設定する。 ○発表をしっかりけるようにするため、発表を聞きながらメモを取るよう指示すが、メモに夢中になりすぎないよう声掛けをする。 ○活動しない時間がないようにするため、時間を決めて交流し、時間が余ったら質問やメモの時間に充てる。
<p>4 新たな気付きを付箋紙に書く。</p>	20分	<ul style="list-style-type: none"> ○発表を聞いて分かったことから、根拠を考えながら大事だと思うことを付箋紙に書くよう指示する。 ○付箋の数を意識しすぎないよう、枚数を制限し、付箋の内容や根拠などをしっかり書くよう指示する。 ○新しい視点であることやこれまでの学習で調べたことと区別し、一目で分かるようにするため、違う色 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◇新たな気付きを根拠を明らかにしながら付箋紙に書くことができる。(ワークシート・付箋) 【技能】 【知識】</p> </div>
<p>4 新たな気付きについてまとめ次時への見通しを持つ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>《表れてほしい児童の姿》 ・生産者の人が安全な食べ物を作るために努力している。 ・消費者は自分の地域の物を買おう。</p> </div>	7分	<ul style="list-style-type: none"> ○交流会の感想ではなく、交流したことによって知ったことや考えたことをまとめられるようにするため学習課題を振り返る時間を設定する。 ○次時への意欲を持てるようにするため、次時は、付箋紙を『つながりチャート』に位置付けて、まとめをすることを伝える。

7 板書計画

○/○○

[学習課題] 日本の食料生産にはどんな問題があり、これから食料生産をどうしていったらよいだろうか。

課題 交流会を行い、食料生産の新しい問題を知ろう。

交流会をしよう

- 1 しっかり聞いて、新しいことを学ぼう
- 2 発表を聞きながら、メモを取ろう
※メモに集中しすぎない！！
- 3 交流会が終わってから、大事だと思うことを付箋紙に書こう※理由が大事！！

まとめ

- ・生産者の人が安全な食べ物を作るために努力している。
- ・消費者は自分の地域でとれたものを買うといい。

○資料 ワークシートの拡大版

6 本時の展開（6／6）

(1) ねらい 『つながりチャート』を再構成し、課題の答えや自分にできることを表現することができる。

(2) 準備 児) つながりチャート ワークシート 付箋（まとめピンク大）

(3) 展開

学習活動 予想される児童の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童生徒への支援 ◇評価)
<p>1 本時の課題をつかみ、学習への見通しを持つ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>[学習課題] 『つながりチャート』を完成し、食料生産の問題をどうすればよいか考えよう。</p> </div>	5分	<ul style="list-style-type: none"> ○『つながりチャート』を意欲的に作り上げるためにこれまでの活動や『つながりチャート』を称賛するとともに前時の学習を振り返り、新しい気付きを付箋紙に書いたことを想起する時間を設定する。 ○新しい付箋紙を位置付ける際に、これまでと同じように根拠、考えたことなどが重要であることを伝える。 ○新しい付箋を貼るだけでなく、これまでに調べてきたこととの比較・関連付け・総合して整理をするため、付箋を動かしたり、書き加えたりしていいことを伝える。 ○じっくり活動するため、説明は短く正確にする。
<p>2 『つながりチャート』を再構成する。</p>	20分	<ul style="list-style-type: none"> ○根拠を明らかにして『つながりチャート』を作成するために、ワークシートを参考にし、話し合いながら『つながりチャート』を再構成していくように指示する。 ○共通理解の基に作成できるように、ルールを参考に比較・関連付け・総合しながら整理していくよう指示する。 ○社会的事象の意味について考えられるよう、活動の様子を見ながら、新しい視点を自分たちの考えに取り入れることができるよう助言する。 ◎どの児童も自分で課題を解決できるようにするために、特定の児童が進めず、話し合いながら活動するよう声掛けをし、苦手な児童に助言したり、励ましたりする。 ○社会的事象の意味に迫れるよう、比較・関連付け・総合の根拠、考えたことなどが大事であることを、繰り返し伝える。

<p>3 課題の答えと、自分にできることをワークシートに書き、交流する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者は地域でとれた食料を食べるようにすれば食料自給率が上がり、生産者もおいしい食料を作ってくれる。 ・農家が安全でおいしい食料を作ってくれるから、消費者はもっと国産の食料を食べたほうがいいので、安全な食料を作っていく。 ・外国からの輸入も必要だけど日本の食べ物をもっと増やす。 </div>	<p>20分</p> <ul style="list-style-type: none"> ○何をどのように書くのかを理解した上でまとめられるように、課題とこれまでの学習が『つながりチャート』に表されていることを確認する時間を設定する。 ○食料生産の問題を自分の問題として捉えられるように課題の答えだけでなく、食料生産の問題が明らかになったことから「自分にできること」を考え、表現するよう促す。 ◎書けない児童には課題を確認するよう助言したり、問いかけを言葉に直したりするとともに、一緒に『つながりチャート』を見ながら考え、励ましたりする。 ○課題の答えや自分にできることを文章に表すことができれば、様々な考えに触れられるように全体で共有する場面を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◇『つながりチャート』を再構成して、生産者、消費者の立場から課題の答えをまとめ、自分にできることを表現している。(ワークシート・『つながりチャート』)</p> <p>【思考・判断・表現】</p> </div>
---	--

7 板書計画

○/○○

[学習課題]日本の食料生産にはどんな問題があり、これから食料生産をどうしていったらよいだろうか。

課題 『つながりチャート』を完成し、食料生産の問題をどうすればよいか考えよう。

これからの食料生産は、

_____ 思います。

だから、ぼくは(わたしは)

これからの食料生産とわたしたち ワークシート4

5年 組 名前【 _____ 】

[学習課題]日本の食料生産にはどんな問題があり、これから食料生産をどうしていったらよいだろうか。

[学習課題] 『つながりチャート』を完成し、食料生産の問題をどうすればよいか考えよう。

その1 『つながりチャート』を完成させよう!

○「ルール」を活用しよう

○付せんにつないだ「理由」や「根拠」を書いて、はろう。

※新しい付せんと自分たちの付せんをつなげよう

まとめ

- ・消費者は地域でとれた食料を食べるようにすれば食料自給率が上がり、生産者もおいしい食料を作ってくれる。
- ・農家が安全でおいしい食料を作ってくれるから、消費者はもっと国産の食料を食べたほうがいいので、安全な食料を作っていく。
- ・外国からの輸入も必要だけど日本の食べ物をもっと増やす。

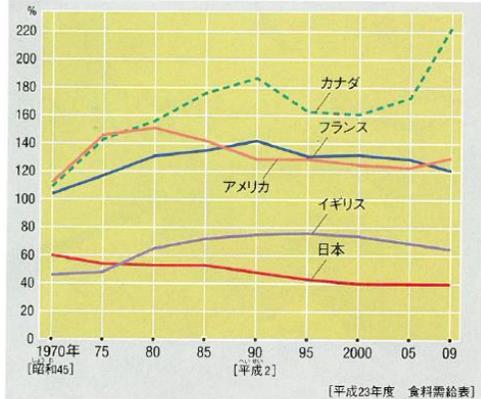
○資料 ワークシートの拡大版

これからの食料生産とわたしたち ワークシート1

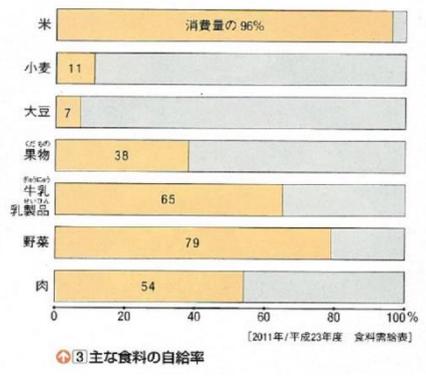
5年 組 名前【

】

[学習課題]食料問題について課題を持ち、答えを予想しよう



② 日本と主な国の食料自給率



ことは
食料自給率 わたしたちが食べている食料のうち、自分の国で作られている食料のわりあいをいいます。熱量(カロリー)から計算する方法と生産額から計算する方法があります。

課題

予想

理由

調べたことをもとに、大事だと思うことを付せんを書いてはろう！ 理由も書こう！！

付せんをはるところ	理由など
	なぜなら、

まとめ

これからの食料生産とわたしたち ワークシート3

5年 組 名前【 】

[学習課題]日本の食料生産にはどんな問題があり、これから食料生産をどうしていったらよいだろうか。

[学習課題] 交流会をして、食料生産の新しい問題を知ろう。

- 1 しっかり聞いて、新しいことを学ぼう
 - 2 発表を聞きながら、メモを取ろう
 - 3 交流会が終わってから、大事だと思うことを付せん紙に書こう
- ※メモに集中しすぎない！！
※理由が大事！！

メ モ

付せんをはるところ	理由など
	なぜなら、

まとめ

これからの食料生産とわたしたち ワークシート4

5年 組 名前【

】

[学習課題] 日本の食料生産にはどんな問題があり、これから食料生産をどうしていったらよいだろうか。

[学習課題] 『つながりチャート』を完成し、食料生産の問題をどうすればよいか考えよう。

その1 『つながりチャート』を完成させよう！

○「ルール」を活用しよう

○付せんにつないだ「理由（根きょ）」を書いて、はろう。

※新しい付せんと自分たちの付せんをつなげよう

その2 学習のまとめをしよう！

『つながりチャート』をよく見て、考えましょう！！

[学習課題] 日本の食料生産にはどんな問題があり、これから食料生産をどうしていったらよいだろうか。

これからの食料生産は、

_____ 思います。

だから、わたしは